

町の美観向上に汗

遊佐組 恒例の池田大橋清掃



橋周辺の雑草やごみを一掃

【帯広発】(株)遊佐組(池

田、遊佐俊治社長)は6日、

道道帯広浦幌線の池田大橋

で清掃活動を行った。遊佐

社長をはじめ役員18人が

参加。町のイメージアップ

につながるよう、美観向上

に汗を流した。

利別川に架かる池田大橋は、池田町市街地への玄関口となっており、夏の観光シーズンやお盆には多くの観光客や帰省客が利用している。しかし、夏場に入ると橋の歩道に雑草が生え、景観を損なう状態となっている。

同社では「池田大橋を気持ち良く利用してもらえれば」との思いで、清掃活動を展開。ことしで11年目を迎えた恒例の活動で、道の景観づくりサポート企業にも登録されている。

当日は遊佐社長ら18人が参加。遊佐社長は「コロナ禍で観光客が減少していたが、徐々に回復している。少しでもきれいな町と感じてもらえるよう、道路環境の美化に努め、地域に貢献しよう」と呼びかけた。

このあと、参加者たちは一斉に清掃活動を展開。額に汗を流しながらスコップで雑草を取り除いたり、ほうきで落ちているごみを集めて橋周辺をきれいにした。

作業終了後には、1ト

ラックと軽トララック各1台がいっぱいになるほどの雑草やごみが集まった。